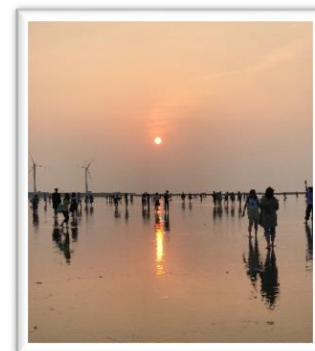


福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（4月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

台湾に来て2ヶ月が経ちました。3月の終わりから4月の初めには9日間の春休みがあり、ルームメイトと台中まで遠出をするなど、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。中間テストも終わり、日々の生活がようやく落ち着いてきたところです。ということで、今回は主に授業や日々の生活についてお伝えしたいと思います。



【時間割・授業について】

輔仁大学では、制限はあるものの、留学生は自分の所属する学科以外からも授業を取ることができます。ただし自分の学科からは最低2科目は履修しなければなりません。単位交換も含め、履修を決めるのはとても大変で時間がかかりましたが、最終的にこのような時間割となりました。赤が英語学科、青が日本語学科からの授業、緑が共通教育、オレンジ色と紫色は中国語を学ぶための授業となっています。

台中の高美湿地の夕日
10cmほどの浅さの海が広がっていてどこまでも歩いて行けるようでした。静宜大学からもあまり離れていない場所です。

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
10:00 AM		Management (Japanese&Chinese)		Advanced English Learning through Musical Drama	Re-defining Development in the Age of Globalization
11:00 AM					
12:00 PM				TESOL and Cross-Cultural Communication	
1:40 PM	Chinese Culture through Foreign Languages (English)		Individual Chinese		
2:40 PM					
3:40 PM					
4:40 PM					
5:40 PM		Free Mandarin Course	Free Mandarin Course		
6:40 PM					Business Letter Writing
7:40 PM					
8:30 PM				Tourism (Japanese&Chinese)	
10:00 PM					

紫色の授業は、正式な授業ではないのですが、外国人への中国語教育について研究している方が私を含む2人に中国語を教えてくださいました。発音の練習や、実際に中

国語を使うことを通して学習しています。オレンジ色の部分は留学生のために言語センターが無料で開講している中国語の授業です。テストによるレベル分けがあり、私はヨーロッパからの留学生2人と約10人の日本人から成るクラスで学習しています。授業は基本的に台湾の師範大学によって制作された教科書に沿って進められます。私たちの講師はアフリカで中国語を教えた経験もあり、わかりやすい授業をしてくださいます。

月曜日の Chinese Culture の授業では、グループに分かれてプレゼンテーションを行ったりしています。既に台湾風春巻き、対句、香り袋（香包）作り、切り絵などを実際に授業中に行ったりもしましたが、全て学生が自分達でリサーチ・準備をして実行しました。現地の学生とも関わりやすく、知らなかった中華文化について学ぶこともできるため、履修して良かったです。

金曜日の Business Letter Writing はオンラインの授業となっています。学期中に数回教室で行われる講義やテストがあります。日本ではあまり馴染みのないシステムですが、動画で説明を聞いた後に自分でメールや手紙を書く、実践的で実用的な授業です。

大学のオンラインシステムについては整備が進んでいるため、全体として多くの授業で活用されているように思います。Musical Drama の授業に至っては、小テストもそのシステムを使い、各々のスマートフォンを使って実施されたので、とても驚きました。ちなみにキャンパス内・寮ともに Wi-Fi は完備されています。

【休日の過ごし方】

休日は出かけたり寮で休んだり勉強をしたりして過ごします。4月中には2度、淡水という、淡水川付近の街に行きました。一度目は、以前福井大学に留学していた台湾人の友人2人と、紅毛城というレンガ造りの建物を見に行きました。紅毛城は1629年にスペイン人によって建設され、その後オランダ人の手に渡り、1867年からは英国領事館となっていた、歴史のある建物です。展示物などから台湾の歴史を垣間見ることができました。



紅毛城にて



二度目は、カナダ、アメリカからの留学生と台湾人の友達たちとサイクリングで向かいました。台北で広く利用されている U-bike と呼ばれる公共の自転車で、約2時間、川辺や森の中のようなサイクリングロードを通り、進んでいきました。活動的な彼らに誘われたものの、出発前はあまり自信がありませんでしたが、終始楽しく、思い出となる1日を過ごすことができました。このように、最近では人間関係の輪も広がりつつあるのでとても嬉しく思っています。



台北では馴染みの U-bike